

過激派武装集団「イスラム国」による事件は日本社会に大きな衝撃を与えております。邦人が直面するリスクは新たな局面に入り、危機管理の設定レベルを引き上げる必要に迫られております。各企業・団体においては、正確な情報収集を行いながら状況を把握し、今後の対応を検討することが求められます。

本講座では、外務省で中東外交を担当し、現在はグローバルビジネス支援に従事する山中俊之氏が講師をつとめ、①中東・イスラム世界をめぐる情勢を解説します。②参加者との意見交換をまじえ、今後認識すべきリスクと危機管理上の課題について共有します。③事例紹介を通して、海外ビジネスでの危機管理のあり方を学びます。

対象 経営幹部および海外事業・総務人事などのご担当者

◆日時：平成27年3月9日（月）13：30～16：00（2.5時間）

◆会場：本会関西本部セミナールーム（大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センタービル）

◆参加料：	参加料	消費税	合計
本会会員(1名につき)	18,000円	1,440円	19,440円
一般(1名につき)	20,000円	1,600円	21,600円

◆講師：山中 俊之 氏（株式会社グローバルダイナミクス 代表取締役社長）

東京大学法学部卒業後、1990年外務省入省。対中東外交、地球環境問題、ペルー日本大使館人質問題等を担当。首相通訳、国連総会を経験。エジプト、英国、サウジアラビアに赴任し外国人職員の採用やマネジメントを経験。また、中東各国のテロ問題の情報収集にあたる。

1997年外務省退職。日本総研勤務を経て、2010年より現職。グローバル人材開発トレーナー・アドバイザーとして活動。「イスラム国」事件では朝日放送「キャスト」に出演しコメントを行う。

◆内容：
（プログラム）

1.中東・イスラム世界の情勢を知る
～今回の「イスラム国」事件をふまえて

- ◆中東・イスラム世界をめぐる政治経済情勢とその変化
- ◆今回の「イスラム国」事件が浮き彫りにした問題とは
- ◆イスラム教についてビジネスパーソンが知っておくべきこと

2.邦人と日本企業が直面するリスク

- ◆邦人が直面するリスクとは（海外・国内）
- ◆日本企業の危機管理の現状と問題点

3.危機管理上の課題と対応

- ◆テロ事件、人質事件への対応
- ◆危険度の判断基準、帰還の基準
- ◆公的機関との連携（外務省の邦人保護など）
- ◆事例紹介（アルジェリア人質事件からの教訓）

4. 質疑応答

（※諸情勢の変化に伴い、内容を一部変更する場合があります）

■申込方法：：下記申込欄に必要事項をご記入の上このままFAXにてお申込み下さい。折り返し、参加券と請求書をお届けします。

※参加料は原則として開催の3営業日前までにお振込み下さい。振込手数料は貴社（団体）にてご負担下さい。

※キャンセルについては、開催日の3営業日前からは受講料の30%、開催当日は100%をキャンセル料として申し受けます。

※ウェブ上でも各種公開講座の案内および申込受付を行っております。（URL <http://www.noma.or.jp/seminar/>）

■お申込み・お問合せ先：一般社団法人 日本経営協会（NOMA）関西本部 企画研修グループ [担当：浅川]

【住所】大阪市西区靱本町1-8-4 【TEL】06-6443-6962 【FAX】06-6441-4319

NOMA 大阪開催会員研究会（中東・イスラム世界の動向と危機管理の課題 H27.3/9）参加申込書	
団体名	TEL
所在地 〒	FAX
ご参加者氏名	お支払い方法 ※該当に○印 （銀行振込/郵便振替/その他）
所属・役職	連絡担当者
	所属・役職

※参加申込書にご記入いただいた情報は、右記の目的に使用させていただきます。①参加券や請求書の発送などの事務処理

②セミナー・イベントなど本会事業のご案内 ③ご不要の場合は□にチェックしてください。—— □ 不要